高浜小だより

発行日
令和６年３月１５日
高浜町立高浜小学校
－卒業記念号－

卒業おめでとうございます！

６年生のみなさん、卒業おめでとうございます。卒業に際して、一言お祝いの言葉を贈ります。

１年生　集合写真

■「感謝」の気持ちを忘れないで

「ありがとう」の反対の言葉は？「当たり前」。それでは、みなさんがここまで大きく成長することができたのは？「当たり前」ではなく、家族や友だち、そして地域の人々や学校の先生方の優しさに守られ、支えられてきたからです。だからこそ、周りの人たちに「ありがとう」という感謝の気持ちを持てる人になってください。

２年生　収穫祭

■「人とつながる」３つのメッセージ

これから進学する中学校での３年間は、体が急に成長し、心も「ひとり立ち」をしようとして、不安になったり悩んだりすることもあります。そんな時期だからこそ、「人とのつながり」を大切にして、実り多き中学校生活を送ってほしいと思います。

― 人との出会いを大切に ―

これからみなさんは、いろいろな人との出会いがあります。「ある人と出会ったことで、考え方や行動が変わった」また、「人生が変わった」ということがあるかもしれません。今のみなさんは、柔らかい心、柔軟な感性で日々を過ごすことができます。自分とは異なる考え方をする人や異なる境遇の人との出会いは、新しい価値観や考え方をもたらします。また、みなさん自身の中にある新たなものが引き出される機会ともなります。「人との出会いは必然」。いろいろな出会いを通して、多くの人とつながり、自分の力を大きく伸ばしてください。

３年生　集合写真

― 自分のよさを伸ばす ―

不得意なことやできないことばかりを見て人と比べたり、うらやましがったりする必要はありません。誰にでも好きなことや得意なこと、人から喜ばれることがあります。それが、自分の「よさ」です。みなさんの顔が一人一人違うように、その「よさ」も一人一人違います。たしかなことは、大切ではない人は一人もいないということ、そして、それぞれの「よさ」は、その人の力でこそ輝くということです。いろいろな人とつながりながら

自分の「よさ」を見つけ、伸ばしてください。

— 人のため社会のために —

みなさんが、委員会活動や学校行事、コドモノ明日研究所の学習などで見せたやる気に満ち溢れた主体的な姿、みんなのためにがんばる姿は、この先いろいろな場面で必ず生きてきます。アインシュタインも「人は、お互い助け合う（奉仕する）ために生きている」という言葉を残しました。互いに認め合い、そして、つながり、力を合わせて、自分たちの学校や社会をよりよい場所になるようにしていくことができる人になってください。

■「今」を大切に

この６年間は、まさに激動の６年間でした。ＡＩ技術が目覚ましく発展し、社会は大きく変革しました。また、予期しない出来事が日本や世界各地でも起こりました。学校では、マスクの着用やソーシャルディスタンス等の感染防止対策をとりながらの生活が当たり前となりました。一人一台のタブレット端末が配付され、日々の学習の中で当たり前に活用するようになったり、オンライン授業に取り組んだりしたこともありました。そのような困難な時であっても、みなさんは新しい学校のルールをしっかりと守り、物事を前向きにとらえ、柔軟に対応する力を身につけてきました。みなさんが経験してきたこと、学んできたことは、これから先の長い人生にとって、決して無駄になることは一つもありません。

これからみなさんが生きていく未来がどうなっていくのか、だれにも分かりません。だからこそ、もっともっといろいろな違いや個性をもつ人とつながり、どんな出来事にも対応する力を身につけていくことが大切です。「今日も人生の一日なり」。そんな社会で生きていくために、「今（日）」というこの時を大切にすること、自分も人（他者）も大切にすることを忘れないでください。

これから始まるみなさんの未来、中学校生活は、どのようにも創っていくことができます。「今（日）」この時を大切に、中学校でも充実した３年間を過ごしてください。３３名の卒業生のみなさんに、心からエールを送ります。